

# 新潟縣公民館月報

発行人  
新潟縣公民館連絡協議会  
新潟縣教育廳  
社会教育課内(電話7354番)  
振替口座 新潟 4094  
四月号

## 大蔵省補助金臨時法案を提出 全公連取止めに必死

公民館の運営を改正し、「補助することができず」と改め、目つ項目も二、教育法により規定され、少ない公民館に備付ける図書その他設備に要する経費に限定し、廿六万を削減せんとするものである。なお、文部省の本年度予算を見

## 公民館補助金の危機

公民館の臨時法案を改正し、「補助することができず」と改め、目つ項目も二、教育法により規定され、少ない公民館に備付ける図書その他設備に要する経費に限定し、廿六万を削減せんとするものである。なお、文部省の本年度予算を見



## 長岡で評議員、幹事会を併催 会、副会長は留任に満場一致

この通りとすれば公民館は従来併や新市がきまらなから、社野の一致と嘆息を以て公民館として一五七〇万円、施設整備費とし平均四千万であり約五千館が賅って六〇〇万円となっており、既にいたものが、今度は三千万の七の法律に拠った貸目と計上され五〇館程が賅つこととなり、貧弱とされている。しかも本年度は補助金の削減に目をつけている。しかも本年度は補助金の削減に目をつけている。しかも本年度は補助金の削減に目をつけている。しかも本年度は補助金の削減に目をつけている。

## 全公連評議員会開かる 副会長に丸山氏留任

全公連評議員会は去る三月十七日開かれた。また新年度予算も審議十八の海日東京神田の教育会館に於いて開催された。本県よりは原会分担金も種々議論はあったが昨年度の分担金に決定した。(本県の分担金は三万円)

## 論壇

### 昭和二十九年年度社会教育の基本方針について

吉川 浩次

社会教育は一応形式的には大きな振興をしたかと思われけれども、なお解決を要すると思われ問題点と、隘路の山積するを認めざるを得ない。われわれは過去における足跡

を省み、あらためて敢て止むる批判と冷徹なる検討を要する。共に、対象たる人間、並びに人間集団、併せてわが国特有の社会構造、そこに多岐の階級関係及びその形成過程に対する認識をあらたにし、その中に今日の時代の中心に在りて、民主的市民的育感に、努力を注がなければならぬ。

社会教育の全般にわたって、尚一層徹底的な効果的行政力策を講じ、市町村教育委員会とも緊密な連絡をはかり、その浸透につとめたいと考へている。これがため特に本年度は、次の諸点を重要課題とし、自由かつ適宜の昂揚と社会教育活動の振興をはかりたいと考へている。

- 1、社会教育行政機構の充実
  - 2、社会教育施設の充実
  - 3、社会教育指導者の育成
- (県社会教育課長)

## 全国大会は廿日より繰上げ 懸賞論文規定も変更

既報の全国公民館大会は、全公連より「か」で懸賞資格は公民館関係連より日程その他詳細に因って通達者ばかりではなく、これのわか知がある。これによると、口起は既報のものも含めた。一切も三月末日四月一日一日繰り上げられ、五月廿日二十五日まで(のぼり)五月十五日廿一日、廿二日の三日間に変更さしNHKで放送される。

本会は、大会にのぞき準備と並行して、四月八日に県下公民館の代表者を集めて討議懸賞委員会を

- 1、東北地区社会教育主事講習
- 2、岩手県社会教育課長講習会(盛岡市上田)
- 3、岩手県社会教育課長講習会(盛岡市上田)

# と題の肉策對男三二

## 育養手少

最近、農村の青少年問題というと、即二、三男問題といった様な見方がなされている。そして今や、二、三男の問題は単に社会問題としてだけでなく、我が国の産業、経済、政治、教育のあらゆる部門と結びついて来ているのである。本県は、自他ともにゆるす農業県であるが、この問題は当然各公民館とも、密接な関係があり、当然関心をもちたねばならぬ問題でもあると思われる。

少々たらえ方が大きすぎた感もあるが県廳台課の御協力を得て、一応まとめ上げて見た。御参考ともなれば幸である。

### 深刻な二、三男の立場

#### 法律だけでは解決出来ぬ地位

「農村を歩いて青年たち味する。敗戦によって多数の人口と過ると彼らの不安がしみは職を離れ、職を失って、また新じみ判る。親の耕地を相続らしい職を求めなければならなくする立場はまたよとしてきた。経済の復旧乃至復興、賢も二、三男の晴の表情には易の恢復、時需産業の成立などの考えさせられるものがある。諸国土をもつても日本は雇農の考えさせられるものがある。諸国土をもつても日本は雇農の農村の過剰人口というが、備の増加を恢復するだけでも問題の核心は中堅労働力で、雇農、得ない現状にある。しかも、ある二十台の青年の多くが人口は狭い国土に年々増加してお人種管理や民法の均分相続の制度遊休状態にあるという事、現在の問題はわが国の当面だけで解決できはしない。新民法だ。だから、それは失業問する極めて重要な問題となつてに。また、後にも、せつかく均分相続の一部である。彼等はい。然し本県は全国一の農業県で、戦後農村への転入人口も微増し、るのみならず、さうして将来の希望をもたない(朝日)農村人口は、県人口の約六割を占める。戦後農村への転入人口も微増し、るのみならず、さうして将来の希望をもたない(朝日)農村人口は、県人口の約六割を占める。戦後農村への転入人口も微増し、るのみならず、さうして将来の希望をもたない(朝日)農村人口は、県人口の約六割を占める。

「農村を歩いて青年たち味する。敗戦によって多数の人口と過ると彼らの不安がしみは職を離れ、職を失って、また新じみ判る。親の耕地を相続らしい職を求めなければならなくする立場はまたよとしてきた。経済の復旧乃至復興、賢も二、三男の晴の表情には易の恢復、時需産業の成立などの考えさせられるものがある。諸国土をもつても日本は雇農の考えさせられるものがある。諸国土をもつても日本は雇農の農村の過剰人口というが、備の増加を恢復するだけでも問題の核心は中堅労働力で、雇農、得ない現状にある。しかも、ある二十台の青年の多くが人口は狭い国土に年々増加してお人種管理や民法の均分相続の制度遊休状態にあるという事、現在の問題はわが国の当面だけで解決できはしない。新民法だ。だから、それは失業問する極めて重要な問題となつてに。また、後にも、せつかく均分相続の一部である。彼等はい。然し本県は全国一の農業県で、戦後農村への転入人口も微増し、るのみならず、さうして将来の希望をもたない(朝日)農村人口は、県人口の約六割を占める。戦後農村への転入人口も微増し、るのみならず、さうして将来の希望をもたない(朝日)農村人口は、県人口の約六割を占める。

## 昭和廿九年度豫算

### 新潟縣公民館連絡協議会

#### 歳入之部

款	項	目	予算額	備考
一、繰越金	一、繰越金	1 繰越金	15,000	
		1 繰越金	15,000	
二、負担金	一、負担金	1 負担金	3,000	
		1 負担金	3,000	
三、雑収入	一、雑収入	1 雑収入	100	
		1 雑収入	100	
合	計		19,000	銀行利子等

#### 歳出之部

款	項	目	予算額	備考
一、事務費	一、給料	1 給料	6,000	
		1 雑給	6,000	二〇〇円×三〇人
		1 旅費	10,000	事務局員の旅費
二、事業費	一、大会費	1 備品費	2,000	
		2 消耗品費	9,000	写真用品代その他
		3 通信費	2,000	切手、ハガキその他
		4 印刷費	4,000	図書補助申請用紙その他
		5 雑費	3,000	
二、会議費	1 評議員	1 県下公民館大会費	15,000	
		1 評議員	10,000	会場費その他

このように二、三男の喘いでいるのである。  
 現状は、国の問題としても大きく取り上げなければならないものと思われるが、こういう時は、二、三男に就業自立の途を拓くと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

### 要望で誕生した対策協議会

#### 目的は二、三男の就業自立

このように二、三男の喘いでいるのである。  
 現状は、国の問題としても大きく取り上げなければならないものと思われるが、こういう時は、二、三男に就業自立の途を拓くと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

#### 【決議】

一、農村二、三男に自立の途を拓くこと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

二、農村二、三男に自立の途を拓くこと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

三、農村二、三男に自立の途を拓くこと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

#### 【宣言】

近時農村の不況深刻化と相俟って、過剰人口の重圧は農村の窮乏を招き、経済繁栄の前途は容易ならぬ。同年代に青年、婦人連盟、農業者指導、開拓者連盟、町村会等を求めて得られない農村二、三男の悲願を訴えが随所に起り、多方面からその対策が急を要されて

このように二、三男の喘いでいるのである。  
 現状は、国の問題としても大きく取り上げなければならないものと思われるが、こういう時は、二、三男に就業自立の途を拓くと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

これが対策推進を図るべく青年同士の、本日茲に相聚り、新潟県農村二、三男対策協議会を結成するに至った。我等は問題の深刻性に鑑み、広く朝野に呼びかけ運動の趣旨の徹底と協力を願う次第である。同時にこの運動の実行に必要はあくまで、直接の訴えのみの活動は農村青年の自主的な組織運動の発動にまたねばならないので、本運動の主体として農村青年の奮起を望むこと切なるものがある。

我等は自らの協議会結成の機に当り、全国的努力を傾注して本問題の解決に努むることを決意した。

この運動の趣旨の普及と浸透は、学校、公民館、青年団等の講演会、討論会を利用し、又は中央から関係者を招き海外事情の紹介を図るとが、実行面においては、自ら先ず先ず、現在開かれていて自立の最も手近な途である秋田県、三重県、北海道への分村入植を実現して来たわけである。その間南米ブラジルへの移民の扉が漸次ひらけ、県内各地青年から移民について熱心な問い合わせが来るので、運動の一環として海外移住協会支部を結成して、中央と密接な運動をとしてその推進に努めたい。

昭和二十八年度においては農村二、三男運動は既に大きい一歩を踏み出したが、その一は昨年八月一日実施された農村二、三男の家庭調査であり、県の施策として農村人口を農業経営との関連において調査し、全国的にも例は少なく、秋田県にならぬ全農家に実施された。これは全国的にも例は少なく、調査資料として今後農村二、三男の対策は、この基礎の上に立ちたい。

その二は、産業開発青年隊の結成が具体的にのり上げられたことである。産業開発青年隊は県十開発と、農村青年の努力を結びつけるものとして、高崎、山形、福岡等の諸県で実施されて来たが本県においては青年自らの盛り上げる意思に基き、自分の為の運動であると、当初の方針に基き、実施の経過を観察し、青年自らの準備体制の完成を待って来た所であるが、昨年十月県連合青年団の山形、遊園の際活動観察にあり、実施すべきの結論が出て本年度実施の運びの模様である。

その三は、海外移住協会支部が函南への扉が大きく開けて来たことについて、財団法人海外協会として確固たる基礎と組織をもち海外移民の本格的取扱機関として発足するに至ったことである。

このように二、三男の喘いでいるのである。  
 現状は、国の問題としても大きく取り上げなければならないものと思われるが、こういう時は、二、三男に就業自立の途を拓くと、共にこの努力を同調させ、電源開発、河川改修、造林等三、北海道根釧原野七十五町歩の産業開発、ならびに海外移住の再開にむけたら、国家再建のためにも一挙両得であると考えられ、動に先駆せよ。

三、負担金	一、負担金 1 全連 2 全連 3 振興 4 振興 5 振興	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	全公連評議員の旅費宿泊費等
四、予備費	一、予備費 1 予備費	10,000	
五、振興費	1 振興費 2 振興費 3 振興費 4 振興費 5 振興費	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	
六、研究費	1 研究費 2 研究費 3 研究費 4 研究費 5 研究費	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	関東、東北、北海道職員講習会 公民館運営研究費その他 会場費その他
計		40,000	

### 「新潟縣公民館月報」特別会計予算

#### 収入之部

項	目	予算額	備考
一、緑	越	3,000	
二、購	読	3,000	
三、そ	の	3,000	(本会計よりの会紙費を含む)
計		9,000	広告料、銀行利子等

#### 支出之部

項	目	予算額	備考
一、印	刷	1,000	
二、謝	礼	1,000	
三、取	材	1,000	原稿料その他
四、予	備	1,000	旅費、その他
計		4,000	

# 先づ農業で就業の開拓事業

## 県で対策の開拓と移住

まず、本県に於ては農地改訂の結果、多くの自作農が出来たが、限られた耕地で二、三割を分家させるには、極めて困難で、互に共倒れが予想されるのである。

ではどうしたか。農業で二、三割の生き道はないか。と、それは容易な道ではないが、我が祖先が一度は経て来た園内開拓と海外への移住が考えられるのである。

**一、園内開拓事業**

園内開拓事業は全国で二、五五万町歩の開拓(内地八五万町歩、北海道七〇万町歩)と一〇万町歩の干拓(殆んど内地)を目標としており、之等の土地は開拓地近郊の農地を確保して利用もされるが、環境、立地条件等から見て、適宜開拓地のない地域の引揚者や、二、三男は新たに自作農を創設する三男は園内には納めきれない状況に入解計画を立て、推進している。



写真 北海道開拓、際野原のふもとに開拓地、一日の労働を誇って御宿につく県人。一面の白練林が美しい。(新瀉日報社提供)

全国の入解目標は三、四万六千戸、地帯開放して見れば、約五、六千戸(内地三、八千戸、北海道一、八千戸)といわれ、現在既に約一、四万戸が入植済であるから、今のため好条件の地区はゆすらない。後の余裕は二〇万戸余といこととなる。この数字は全園地村一、三男及び生自立を要する密細農家の数から見ると極めて僅少な枠である。

本県では終戦後、この事業が殆ど低廉な対価で土地が売買される外、用地を取得し、現在九百戸の入及び開拓面積一町当りの三、四万に積と、三万戸に達する増産農家が、補助金を交付され、営農資金をもち、今後入解計画金として、一町当り一五万円の低

利資金が融通されるので、頑強で家長夫婦を要せずとして、三福等以上を以て条件は無く、将来性の元の開拓のみを願う若年青年は親の援助のみを頼り、悠々たる掘地を建設し得るのである。

**二、海外農業移住**

かつては韓国、朝鮮、樺太は勿論、近頃は南洋開拓で、移る。この計画移民の外に呼寄せ移民も可能で、これは故郷の制限はないが在留邦人からの出がなくてはならないことである。

一昨年以て本県から送り出した方々からの返信によると、何れもさ、この点に就いては、三男に就いては、技能の修得を志した就業対策と、その渡洋中の生活活動であった。

このように地域青年の動きは、経済の基礎を確立する構想をも、提唱された「産業開拓青年隊」について述べる必要がある。

一、発生経緯

そもそも、この運動の端緒は戦後の過剰人口の重圧を最も深刻に感じて、自立自営に迫られながら、その方途に悩んだ農家二、三男が、自らの活路を開拓すべく積極的な活動を展開することとなり、現自らの生活活動に就き、約五百名の青年が参加したものである。即ち、この連が組織され、約五百名の青年が参加したものである。

青年隊は青年の完全なる自由意思によるものである。期間は原則として一ケ年、十八才より廿五才までの青年を対象とし、特に募集は青年団が主となり、府県は同様に協力することとしている。又資金は一般の労働者と同様、一定の労働に對して正当な賃金が支払われるわけであり、共同生活は外部からの強制や干渉を受け、キャンフ廿五名をもってする自治的生活を営ましめるものである。かくの如く青年隊は青年団を本活動の推進母体とし、自主的、民主的に運営されることを期しており、かかる青年活動に對して、府県はキャンフ及び必要備品の整備、教育の実施等によって積極的な支援措置を講ずるほか、作業、共同生活全般に亘る指導助言者として、起回を共にする指導員を附することになつて居るが、この補選員は青年団と府県が協議して適任者を決定することになっている。又府県は修了後の就業斡旋について、出来るだけの努力をするともに、出来れば各地の青年隊より特に優秀なるものを選抜して、短期特別技術教育を施し、技術の向上を期することになっている。

**三、青年隊の現状とその前途**

以上のような理念と制度のもとに、青年隊も、幾時時は

## 政府支援の開発青年隊

### 働きつゝ学ぶことが狙い

働きつゝ学ぶことが狙い

働きつゝ学ぶことが狙い

**紹介**

**青年学級**

関係図書

青年学級振興法

開設とその運営

田中彰著

(学陽書房 二〇〇円)

青年学級の運営

文部省青年学級研究会編

(全日本社会教育連合会発行 一七〇円)

青年学級振興法詳解

文部省社会教育法令

研究会編

(同仁会出版部 二〇〇円)

青年学級テキスト

若き世代におくる

村ずりの課題

村づくりと

人づくりのために

平沢薫著

(教育図書 六〇〇円)

青年学級の教育計画と学習活動

平沢薫・前田偉男共著

(教育図書 八〇〇円)

青年学級主事必携

(平沢薫・吉田昇・沢田慶輔・原田留次郎・前田偉男 執筆)

(学陽書房 二〇〇円)

働きつゝ学ぶ親睦雑誌

月刊 青年学級

(日本青年学級協会編 月六円 三月一八〇円)

或いは国家の特殊目的に利用され、及び青年団は数々に回って余金をおそれなき、又は難削の産業し、具体的計画について協議を重ね、取が行われる可能性なきや等、かか主として選管委員会を作り、取りきひし批判も仄聞された。取敢えず本年度は廿五、一キヤンとすることであるが、前述の如く、道、プロフェッショナルとして実施すべし、十県において実施され、特別技能、口下、麻痺器具の他について、教育も建設費の土木研究所及び地、園及び農会等に陳情が行われている。調査所技術員養成所において実る。なお園においては明年度は什應されるに至り、多期青年の熱、六キヤンに拡張する意向で新ら意とともに相当の成果をあげつつ、三、四県が実施する形勢にあり、青年隊の本質も漸く認識し、不運動も漸次拡張推進される状態に近づくと見られる。

本県においては、かかる青年隊の存在は充足したばかりであり、運動に呼応して県連青においては、本運動の趣旨も必ずしも全国的に山形、静岡の実現状況の模範を行、透しているとは言えず、且つ、困うほか、その可否をめぐって慎重、家、府、県財政或いは受入側の討議研究の結果、青年団として昭和十九年度より積極的に推進することとなり、昨年末、県連青に対して案、方、を要請された。その後



二新報日社提提供二

写真：新潟県佐久間郡... (The text is partially obscured and difficult to read, but seems to describe the photo above.)

職業を必ずしも充分でなく、現在は問題にぶつかってゆくと云う。しかし青年期は、この運動を以て性急に効果の大きいのみを期待せず、通じて二分野をいひ、特に青年の生活に直結する問題として、なるまい。働きつつ且つ学ばせ、かつ青年自ら解決すべき問題として、深い関心と期待をよせられなく、本運動の前途も決して平穩なコースではなく、幾多の困難や

### 「転職するのなら早い方がよい」 県で差しのべる職業指導の手

農村の二、三男は、昭和二十八年八月の実態調査によると、一、五から徴兵検査頃までは、自家農業から九才までの青少年男子は、約七万六千人とされているが、これらの人たちは、現実人口過剰となつて、農業経営の中にあつて、自分が意識しての否と時代において、或る程度必要と感ずる、所謂、潜在失業階級はあつたろうが、それが現在にかかわらず、無意識のまま困窮となつて残されながらも遅かれ早かれ、この地位から脱しなければならぬ立場に置かれてゐるのである。

それは、二、三男たちを手伝つておけば、父兄たちは、都合がよいには違いない。しかし、いなくとも都合がつけられるものなら、開墾でき得るところは、入居者にして開墾の義務が課せられては、一日も早く転職させるべき考へがあるが、しかし農村が抱擁し得る人々には自らの限度があるやうと信するるのである。

軍中時代は、身体が丈夫であれば、少し位年令が多くても、又これと、転入してゆかなければならぬとするならば、それは一日も早い方がよいわけである。

戦前は、農家(特に蒲原地方)中農以上の多い(二、三)せられた等、職業の準備なしに、



写真：公職業補導所(直江津) 溶接科の実習

無技能者として農業以外の社会に出ることは極めて不利な条件に付、なればならぬ。これは、明らかであり、よほどの努力補給を重ねなければならぬ。このことを、本人は、勿論その父兄たちも深く考へなくてはならぬのである。

それでは有利に仕の職業に転職するには、どうしたらよいであろうか、理想をいうならば、その父兄は、義務教育がおわつたならば、二、三男たちは、直ぐその将来志向方向に進ませるべきであるが、中々それもゆかないとするならば、できる限り早い機会に就職に必要知識、技能を身につけさせて、早からその職場にいた者との入

現在、就職に必要なセントを占めている。これらの人たちは、既に全部就職が決つて、それぞれの職場に就職し、身につけた技能をもつて、その公共職業補導所は、生活安定と生産の増進に邁進することになつてゐるが、この職業補導所での訓練方法は、学校や徒然で、二、三男たちが職業転換をするためには、T方式という新しい訓練方式によって、学科と実習、即ち理論と実際とを併行して教える方法をとつてゐる。

県には、新潟(建)二、三男は、昭和二十九年度の補導生は現在選考中であるが、入所を希望する者が定員の平均倍以上になつており、補導科目によつては、八倍に達しているものがある。公職業補導所では更に職業補導所の整備拡充を考へてゐるが、しかし施設の収容力には限度があるので、公職業補導所、或いは簡易職業補導所によつて多くの人たちが、早く必要な知識技能を身につけられるように研究を進めている。

二、三男たちが、これから新しい職業生活に入るには、何として無技能者としてはいけぬ。できる限り一定の職業技術を身につけておきたいものである。それは、公民館や青年学級等はいま少し斯うした問題について、真剣に、組む必要がある。

科四〇名、洋裁科四〇名、経理事務科四〇名、木工科三〇名、柏崎(建築科)五〇名、高田(建築科)五〇名、本工科三〇名、三案(建築科)五〇名、本工科三〇名、小出(建築科)五〇名、本工科三〇名、直江津(機械科)五〇名、溶接科三〇名、とそれに昭和二十九年度から新発田(取敢えず洋裁科)三〇名として、近々電気科三〇名、経理事務科三〇名を増設することになつてゐる。

昨年四月、ここに入つてきて、技能訓練を受けた者は全部六二七名に上つたが、そのうち農村の二、三男は、

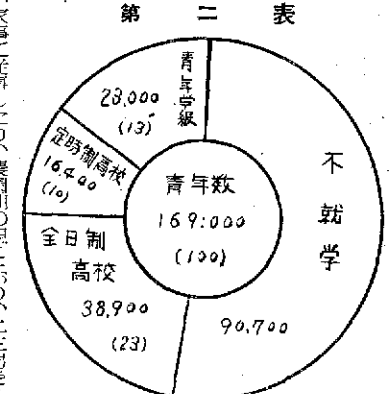
職業補習所や、職業安売所との活の準備に万全を期し得たなら連けりをもとと取捨に於て、各人ば、本県における二、三男の就職を以て自己の将来の職業生活の重大問題にも幾らかの曙光が大性各自算せしめるとともに、職見出されるのではないかと思われ業補習所へ入所するなり、その他る。

(県失業対策課提供)

一二三男教育は青年学級で

基礎能力を助長するが肝要

さて、(その)最後に青少年教育で、結婚適期期になるの立場から、この問題についてと財産の土地や山林が兄弟の関係から生活するに十分でないことにより、(その)二、三男の困難は特に農村において、深刻であり本県のように農業者は特にその重圧を被るべく、感ずるところは今も昔も変わらなことを感ずる。徳川時代のようにせいぜい家のために働く貞實農産の存在を無視しつゝ認められな考え方や、各種の呼称に現われた輕蔑感は、勿論改められて来てはい



表のようであり、同年(二十八)年(二十)新制中学校卒業者の進学及び就職状況は第三表のようになつてゐる。これらを見てもわかる。勿論勤労青少年教育の行われる場所は定時制高校や青年学級のみに限らず、各種グルーンプレゼン、団休活動、社会教育施設を通じても目的の達成が、意圖の無意圖的に行われてゐる。しかし、三男の将来を考へての組織的教育活動としてはやはり青年学級と青年労働中心となり、而もその学習方法に「共同学習」が中心とならなければならない。以下重要と思ふポイントを列挙して見れば、一、青少年教育に対する関心と理解を高める。

Table with 3 columns: 性別 (Sex), 学級 (Class), 人数 (Number). Rows include total counts, percentages, and breakdowns by age group (年令別) and school type (最修年級別, 出生階位別).

この二、三男に対する教育の問題であるが、彼等が学業がその時の受業者の状況参考の的学習活動が、意圖の無意圖的に行われてゐる。しかし、三男の将来を考へての組織的教育活動としてはやはり青年学級と青年労働中心となり、而もその学習方法に「共同学習」が中心とならなければならない。以下重要と思ふポイントを列挙して見れば、一、青少年教育に対する関心と理解を高める。

二、自己教育の場としての社会教育施設を充実を図る。三、団体活動を活発にし、特に二、三男の自主的グループ育成を図る。

一、青少年に対し各種職業の場を、二、三男補習施設を設け職業指導する。二、三男の自主的グループ育成を図る。

第三表 (社会教育課 猪股武雄)

Table with 6 columns: 進学 (Progress), 就職 (Employment), 計 (Total), 死 (Death), 亡 (Loss), 合計 (Total). Rows show counts and percentages for different groups.

東洋と西洋におけるユーマニズムと教育 二三四頁 ユネスコ本誌刊 第二回ユネスコ総会の決議... (Continuation of an article discussing humanism and education in East and West).

室 八日本文化形成に際しての在来文化と外来文化の衝突融和 二国内的価値と實際の価値 本松教の立場... (Continuation of an article discussing cultural formation and values).



